通信全覽初編

佛國御對話 全

四十九

和書門 類
三三〇〇五 號
二〇六 函
一 架
三〇三 冊

内閣文庫
和書 類
三三〇〇五 號
三〇三 冊
一八四 函
一八 架
(二五冊)

内閣文庫		
番號	和 33005	
冊數	303 (52)	
函號	184	271

共百十四

国立公文書館
National Archives of Japan

佛國第一條對話書目録

一 交易規則之事

右ハ英吉利ヘ申立候趣ヲ承知致度旨
自ラ別段申立候義無之段申出候ニ付英
吉國ニ書籍ヲ以テ掛合候ハ無之旨両國
中ヘ申立候得共只今其國ヨリ相答ニ相成候
上ニテ申談候迄ハ不及其儀候旨

一 條約交換以後附属之廉件申出候事

一 私共國ヨリ商買之者差送り貿易利益

内閣文庫

加之両家子孫ニ至迄両国間ニ懇親有続へき
事也

一 両国ハ交際之為ニ相互ニ一名のヂブロマチーキ
アゲントを其国の都府ニ差置自国人民を保護し居
留し条約ニ付貿易之事ニ付其事務を取
扱ふへし

一 ヂプロマチーキアゲントたる全権を有すへき者なる
両国相互ニ両国内何れの場所ニ而も
旅行いたし候事相許すへき事

一 條約第一条ニ佛国人民各港日本ニ
居留いたし候廉有之

一 條約ニ基き両国之間ニ相互ニ仏国ニ於いても
中廉之儀ハ皆私之国ニ而日本ニ於いて同様ニ
相互ニ通商之儀ハ其者共ニ相当ニ而商人之
両国商人ニ至り令の渡一体ニ右等
交易不論之儀ニ而ハ不宜候ニ付而ハ
然るニ廉之儀ニ候へし

一 横浜ニ而役人殺害いたし候由之事件

有之候且私附属諸侯之者神奈川表
之場所ニ而諸大名之家来と出会候ハヽ近辺者
少ク可有之事

右之件々ハ今般ニ而も出来申間敷候得とも
年来之嘉例ニ而事有之自然行違之儀も可有之
之候ニ付破談ニ相成候得ハ大略彼人之為稍
搾棠可相成ニ然と存候

一
附添之事
国民大不利之事故以後可遣申度候事

却而彼是之患念ニ相成候得者静謐之為ニ 附
添之者差置候而者彼方ニ而も相止候得者行届可
勤番之上ニも少々相心得候様ニ付度大事ニ篤与
勤番之上之事より外国人面々へ行届候節も
互ニ心得方相心得候様ニ而外国人之儀ニ
違背之儀も無之様取締り可申候 右
之段ニ而ハ今般本国政府ニ而申立候事ニ御座候
承知之上可相心得候事

未十一月廿三日於中務大輔殿宅下総守殿中務大輔殿

佛國コンシユルセ子ラールト應對話書

一 應挨拶畢而

一 大樹公御上洛ニ付而御警衛之儀承知仕候
右ニ付申上度事件も有之候得共先和蘭人

一 右申上度ハ通商之儀警衛筋之右ハ自然延引ニも
於此度ハ今日之儀合面晤いたし候 何様ニも
いたし申候

一 二ヶ月以前本國皇帝ゟ日本
大君江之書翰持参居候処右中ニ者右者懇親
之条約ニ有之候得共其心得ニ而在留いたし

祕閣圖書之章

国立公文書館 National Archives of Japan

退く心得之廉有之候ハゝ此段申上置候

一 此方迚も同様本條約取極候上者、何廉意
之儀も無之候得共、若又心得違之廉有之候ハゝ
何れ無腹蔵可申聞候

一 交易規則之儀者、有之亜国ミニストル英国
セキレターリより申立候趣、私ニおゐても同意ニ
御座候間、別段申上候儀無御座候、右日本ニ而
本条約取極候ハゝ、追而可申談旨申上候

一 委細承知可申候

一 私事本国より被申付候者、貿易
利益之為ニ而已ニ無之、両国之為懇親取結
候為ニ御座候

一 貴方役人何事も不馴之事故、自然行違之儀も
可有之候ニ付、御海恕可被成候

一 国と国との交際ハ、二筋有之候、一筋者デプロ
マチイキアゲントニ而取扱向并自国民人
之懸念差留ニ御座候、又一筋者交易
之事ニ有之候、交易之儀者別段申出候

不申上候

一 チプロマチーキアゲントは全権之者ニ而一世
本国より軍艦兵士等も差添ニ而外国に
在留致し全く其国ニおゐて保護之手
當有之候ニ付安心いたし居候処右商
ハ右之申立尤至極ニ存候へとも猶熟考仕候

一 条約第一ヶ条ニ佛蘭西国民ハ差構忌
日本ニ於而旅行いたし候廉有之候

一 條約ニコンシュルセ子ラールは其国中旅行
出来候と申廉有之候処私事ハ国ゟ差来
いたし候よりハ外ニ旅行頼候儀無之
且宿寺ニおいてハ右ニ掛り候役人有之候ニ而
当国商人ともニ出入合不相成且又私職
之国ゟ参り居候者共国之官之人
来候而も其者共ニ対而可致候 唯
参り候者共役人共ニ而更ニ懇親之廉
無之見込申候

一 役人並ニ私之名ニいたし候と申ニ有之

其上得其国法ニ入へからさる者ニ候ハヽ
其之者名前ニ書添候て取扱手段可申上
此外ニ申上候條之背キ候者ハ罪可申付候
一 右申渡之條〻相守候ハ意ニ付候て難有申
廉ハ取り可申候
一 右申達候ニ二ヶ条背き候ハヽ其二ヶ条を横濱
ニおいて夫那人を殺害いたし逃去候者
ニ之を早ク申上り候如逃ニ相探索可有之
右書籍を以右様背キ候由御沙汰相待

并ニ一ヶ条を私附属之旗書ニ之の
神奈川表ニ而被取帰路大君之家来
役人面役ニ而逃延候者共ニ差危場合ニ
御座候
一 其右先達而以書翰ニ御申被成候と同件之事
右以上
一 右様之御座候
一 警衛之儀ハ佛蘭西人英人へピストールを持備
人其外人刀剣携へ差置候也勿論如何

之思召候条

一 右之儀ハ此方おゐて右御仕置未紀ニ如往古
迄ニ而阿蘭陀持参物ハ不致候外国人江出逢候事
附之儀一統
右者之諸事并持参之者持参ハ不致遠申
長崎掛ニ而旅人を制し通行不致候様可致
国之制法ニ背キ候 強而如左右掛之者を国より
取締之上の彼我国人ニ差別無之不申付候義ニ
外国人を相制し候様致方之儀取極候様右掛

之者服立候ハヽ召捕り置外国人之所ニ通行
いたし候ハヽ其身ハ勿論事件ニより其心得方之者迄ニ而処罰
掟ヲ相背候儀ニ候ハヽ
一 異国船漂流之節其所ニ而其所役人共ニ而急度
実事ニ候ハヽ其者之不届下ニ取扱制し
候ハヽ何様之阿蘭陀人ニ而も浦奉行ニ引渡し可申
候事 右ニ付而退延候事ニ付後ハ
一 右最前之別事之存寄も有之候ハヽ其時之様子次第可相伺
可有沙汰候

内閣文庫
国立公文書館 National Archives of Japan

一 手前之室ハ馬上ニ而刺殺之上手
ニ而法而處云中上候ニ付其ニ而当人召出ニ
相成候上ハ都而ニ而も相分り候旦其之節
之處ニハ右始末より出来ハ刺し治療之方
渡刀鎗相納めハ其右も其ニハ場ハ其ニ
之者ハ大危難ニ而之ニ付之処ハ打捨ハ刺し
之放人人處置し是等相成候ハ相成
相分り候事

一 右ハ其室ハ取遣ニ而付相続ハ擬案可然候

一 若於刀鎗抜候者相分りハ前ハ乗組中
其六ケ条ニ付其ハ通ハ罰し其ニハ相成候ニ付
存候

一 右ハ刀鎗抜ハ及ニ而人命ニ拘候ハ候ニ付其
ハ有死罪ハ申候ニ付其ニハ相成国法通り其
罪之軽重ニより候て仕置ニ而可申付候

一 其外刑罰之儀ニ付其ニ而候ニ付其刑之
ニ其セ候ハ茂ニ而相伺候ニ付候

一 乗組之外国人遊歩之里数等定之節ハ

且東海道筋之儀道幅も広く候得共
往来繁候之儀者有之候ニ付猶更難計候

一 縦令道幅之広く有之候とも馬上ニ而之自然
行合不都合之儀も可有之且ニ付行合立ニ相成
實ニ不容易事ニ付有之候此方おゐても右之者召捕
吟味ニ及候而も何分発揮ニ相成り不申候

一 コンシユルセネラールヲ初国人迄も命拾絶
候とも當端之見得相成候義ニ付而申候
背ニ而命を失ひ候ハヽ本国政府之所置ニ

但右之次第ニ而右之申上候とも思ひ兼候
候共唯今より申上置候

一 右様之儀有之候而ハ必ニ外之事ニ而有之一体我国
おゐてハ未タ鎖国之古風ニ而急速取合兼候場
合も有之候ニ付候而ハ弁外出之所士官之者附
添候様致度左候得ハ自然不慮之事出来候共差支

一 各国之者官之者之迷申行違之所も有
之候礼式も有之候得共半民ニ至り候ハヽ之
者ニ至候も未弁不申候外国人通行之節

之互ニ所業ニ相拘候者有之候ハヽ其国人之罪く
法を以テ罰シ候事一度命令ヲ以テ下し
申成候ニ付不都合之儀有之ニ付候事ニ候

一 中ヨリ相頼も有之候共自国之人民外国人之
罪を見分ケ候ハヽ出来不申候得共第一其處可有
之儀と深く心配いたし候事ニ候右之者當分之間
支配之者差添候而何ニ而も有之候節ハ申入候事ニ候

一 条約之国より和親取結候ニ付而ハ両国
之間約定之候ニ付根元之趣承候ニ付申上候

通り一度命令を申出し候ハヽ其頭本国
政府ニ而申出を以テ政府ニ於ても格別
安心致し申候事ニ存候

一 命令を申し申候得共何分国民ニも不引合之
者共上之者も取扱之事を差遣し申候上決心配
いたし附添之もの之ニ付申し外国人参り候之節ハ
附添も国相参り候節ハ之所其外文字ニ而
附添いたし候ても遠き事も有之候ハヽ存候之
之事ニも当方ニ而其外国共ハ付迄申候得共

候とも可相成

一 唯今之御時節ニ付而ハ萬事差弃ニ至極可
申上候一件帯刀或ハ常ニ致し候者ハ格別之政府
之命令を重んし平日如不都合之義無之
致し候者ハ兎角帯刀致し候者ニ有之候

一 諸事上下帯刀致し候もの之内政府之
命令相堅く致し候もの之有之候哉

一 貨幣之儀ハ政府ニ於て取扱候義ハ有之候得共唯今之事ニ候へとも
直ニ候哉

一 諸士等も未何事ニよらす只今ニ而上下帯刀を
常ニ致し候者ニ而法を犯し候義何度も

一 帯刀いたし候者ニも不心得之者ハ浪人ニ而も之を嫌ひ候人ニ
見難き事ニ候もの有之候由右之外国人ニ而浪ニ我国
人ニ対し候ても諸事不当之事いたし候者ハ有之候
乱暴狼藉いたし候上ハ急度紀明いたし候ハヽ之者
之儀

一 政府之儀ハ蔵権を以て浪人共命令を相守り候
様取締方相成候哉

一 皆其元より命令を下し在留の者共之を格別
之悪事いたし候者ハ早速召捕申候其外近も
無之彼是不良之者の住居し候事も有之候
一 兵学之師範申通り此度学校上ニ而本国
政府ニ申遣候
一 此等之趣有之候ニ付御伺申候

右は松平武蔵守勝田次郎申上候
出し右之清判有之

一 服役抔之儀在之候て中止之事有之候
一 欧羅巴州之事の有之候節も必中止候既ニ
ヨーステンレーキ国戦争之節も中止候事ニ而
英仏両国之軍艦数隻差向候
右軍艦品々有之仏蘭西政府より出帆
いたし候ものと存候
一 此割も中止之通命令を下されし本国
政府ニ申遣候
早速命令を下し申候

一 右国〻之取合好振ハ申度存候
此方におゐても国々より之申立ニ付其事訓ニ基き候もの之
法之通取扱候而ハ不都合之事有之候ハヽ何ケ度も
ニ申聞も可被存候

一 難有奉存候

一 先頃中申立られ候条約之趣ニ而は亜国ミニストル英
国コンシエルゼネラールより委細申立有之候ニ付
之別段申立られ候趣旨を亜英両国ニ書翰
を以挨拶可被下候 又面晤之節申聞候何れも右之

事件取極り次第書翰を以申入右国同様取扱
候心得ニ有之候

一 難有奉存候

右之御返答

内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan